

# 異文化との通わせ

## つくば通信

(12)

村田 佳子



つくば市は夏休み期間中、「つくばちび子博士」という企画があり、対象となるちび子(小中学生)たちが、市内のさまざまな研究所や施設を訪れ、スタンプを集め、一定のスタンプ数に達したパスポートを提出すると「ちびっ子博士」に認定されるというものです。さらに、感想文を添えて提出した子供たちの中から優れたちび子たちには「優秀ちび男児エンジニアの方が子供のじぶんに因じた瞬間



の出来事が夢になり、そして実現したことについて話してくれました。

「思つていた通り、美しい平和な国。くて平和な国。」  
香川県の出来事について教えてくれました。

「11歳のころ、首都バケ

ダッジの街でビルを建設

している日本人エンジニア

アを見かけました。その

日本人たちの勤勉さ、そ

も光となつて彼の日々を

度。そして勤勉

ですね」

Aではイラク戦

争後初めて、イ

ラクからの研究



## 「好き」のアンテナ

つくば市内の小学校訪問の様子。小学生をだっこするハイチからの研究者さん

15年後、26歳になつての受け入れを再開。その受け入れを再開。そのうちの一人が農業土木研修のためつくばに来ました。私にとって彼は初めてお会いするイラク人で

まだ小学生だった彼の心を動かした日本人エンジニアは、誰に見られていました。

つくば市内小学校訪問の様子。小学生をだっこするハイチからの研究者さん

でした。健康診断を受診するのに一緒にしました。が、その待合室で満面の笑みを浮かべながら彼は私にそっと語りました。小学校から高校にかけて勉強が良くなり、4度も飛び級してきました。しかし、彼は18歳で大学を卒業しエンジニアの道へと進みました。そして昨年、国内で選抜され来日して日本に来るのは実は夢だったんです。

「日本に来るのは夢でした。彼はそのきっかけ

になりました。小学校か

ら高校にかけて勉強が良

くでき、4度も飛び級し

た彼は18歳で大学を卒業

しエンジニアの道へと進

みました。そして昨年、

国内で選抜され来日して

う夢を実現。「一人の日

本人の一生懸命」は少

年だった彼の心にあります

ぐ届き、混沌とした中で

日本についての言葉があふれ出

ていました。

昨年、JICA

争後初めて、イ

ラクからの研究者、エンジニア

や行政官の方々

の夢を実現させた彼を目の前にして私は鳥肌が立ちました。

「夢がかなつたってこと

?」と聞くと「かなつた

と彼。

まだ小学生だった彼のほし、思ひます。(高

市出身、JICA筑波国際センター・クリーニング

にいるとも知らず、遠く離れて

コーディネーター)